

事例研究報告

特別支援学校中学部における
「少人数集団」から
「学年全体」へ広げる
ソーシャルスキルトレーニングを
取り入れた授業の実践について

生徒の実態1

- 中学部生徒のうち
自立活動Aグループ（12名）を対象

生徒の実態2

生徒の実態

自発的にあいさつできる
恥ずかしさでうつむきがち
働きかけがあれば・・・

全体的に
積極的なあいさつが
できていない印象



教員のねがい

今年度末までに
「あいさつができる
活発な生徒集団
を育てたい」
(今年度末までの大目標)

指導方法について（目標）

教員が目標について話し合い



登校時に、校舎入り口前に立っている
教員に対して自分から
「〇〇先生、おはようございます」
とすることができるようになる

第1回コンサルテーションで ご指導いただいたこと (1/2)

- 学年所属の教員が持ち寄ったアイデアを取り入れる
- 応用行動分析の、A（行動のきっかけ）、B（行動）、C（行動の結果）のつながりを検討し、実践する

第1回コンサルテーションで ご指導いただいたこと (2/2)

- 生徒全員に対して
同じ目標をたてるのではなく
柔軟に個々に応じた目標を立てて実践する

指導手続きについて（あいさつ運動）

①あいさつ運動の名称の話し合い
→「おはようスマイル運動」

②看板を作成

③予告動画の視聴・あいさつの練習

④運動の実施(条件をかえる)

⑤成果の確認(シール・動画視聴)

③④⑤を
くりかえす

→月に1回ずつ，3ヶ月実施

指導前後の記録

「(〇〇)先生」と言うことができる

BL

予告なし
看板なし
シールあり
日替わり教員

STEP1

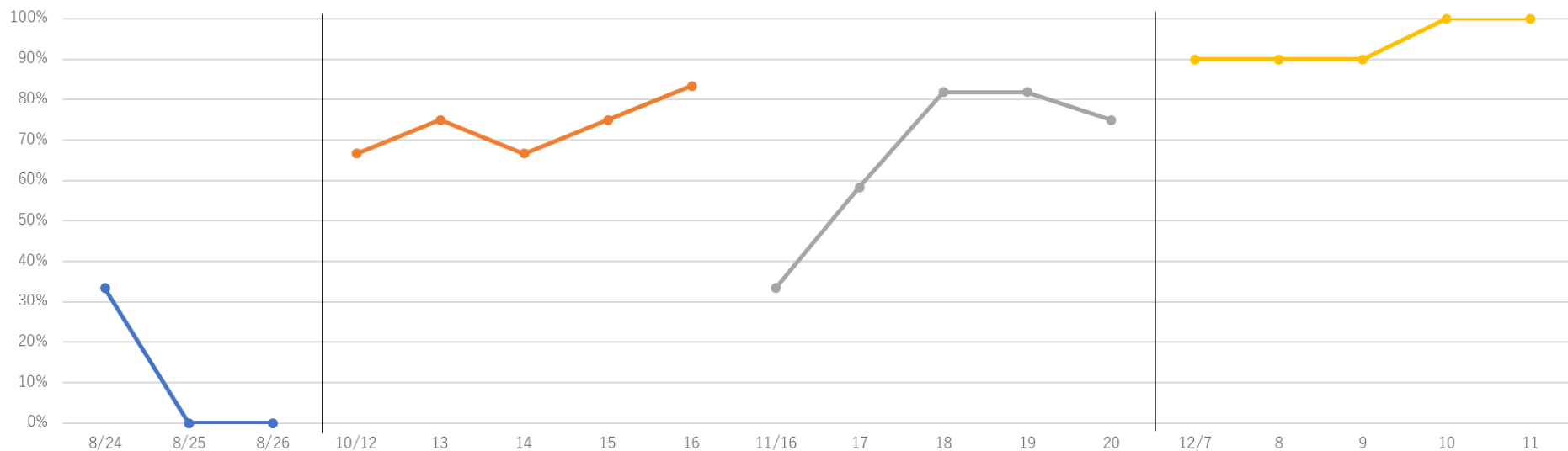
予告あり
看板あり
シールあり
同一教員

STEP2

予告なし
看板あり
シールあり
日替わり教員

STEP3

予告なし
看板なし
シールあり
日替わり教員(STEP2と同じ)



指導前後の記録

「おはようございます」と言うことができる

BL

予告なし
看板なし
シールあり
日替わり教員

STEP1

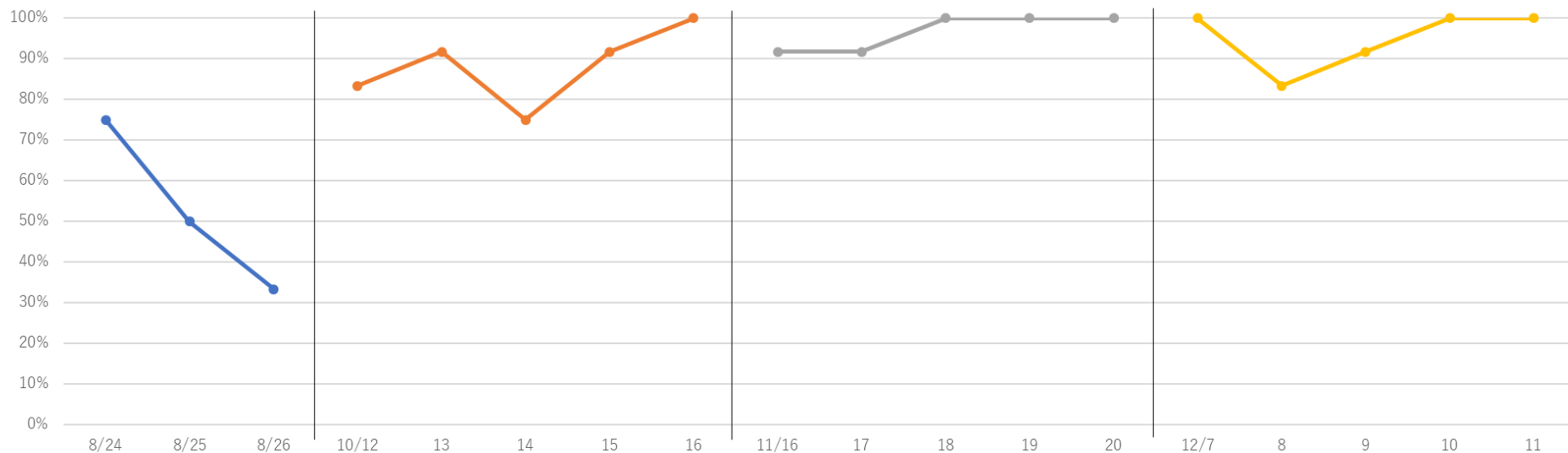
予告あり
看板あり
シールあり
同一教員

STEP2

予告なし
看板あり
シールあり
日替わり教員

STEP3

予告なし
看板なし
シールあり
日替わり教員(STEP2と同じ)



指導の効果

- 登校時に、校舎入り口前に立っている教員に対して自分からおはようございますと
言うことができるようになった
- Aグループ以外の生徒や他学年、他学部の生徒にもあいさつをするきっかけを作ることができた
- 振り返り（自分がいさつしている動画を視聴する等）を通して、生徒自身が自己の成長を感じることができた